



平成 29 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 日本シイエムケイ株式会社
代表者名 代表取締役社長 高井 建郎
(コード番号 6958 東証第 1 部)
問合せ先 経営管理部長 萩原 正芳
(TEL : 03-5323-0235)

通期業績予想の修正および営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表しました平成 29 年 3 月期の通期業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。また、営業外収益(為替差益)を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	77,000	2,500	2,100	1,600	27.03
今回修正予想 (B)	75,300	2,650	2,620	2,150	36.32
増 減 額 (B-A)	△ 1,700	150	520	550	
増 減 率 (%)	△ 2.2	6.0	24.8	34.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	73,098	381	△ 628	△ 8,122	△ 137.21

修正の理由

当社グループは、中期経営計画に掲げる成長路線実現のため、車載基板市場での販売拡大と収益性の向上を進めております。

このような状況の中、売上高につきましては、グローバルでの自動車需要増加や自動ブレーキをはじめとする先進運転支援システム(ADAS)の普及拡大が追い風となり、車載分野においては期初想定を上回る販売を達成いたしました。しかしながら、円高の進行による円換算後の売上目減り影響が大きく、売上高は期初予想を下回る見込みとなりました。

営業利益につきましては、前期より進めてまいりました国内の経営合理化による固定費削減が計画通り進捗したことに加え、車載分野を中心に受注が好調だったことと生産性向上による収益性改善の効果が相まって、営業利益は期初予想を上回る見込みとなりました。

また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の通り営業利益が予想を上回ったことに加え、下記の営業外収益(為替差益)を計上する見込みであること、国内の生産拠点集約に伴い遊休資産となった土地及び建物等を譲渡し、固定資産売却益を計上したことなどから、営業利益同様、期初予想を上回る見込みとなりました。

2. 営業外収益(為替差益)の計上について

昨今の為替相場の変動により、平成 29 年 3 月期決算(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)において、為替差益 226 百万円を営業外収益に計上する見込みです。

なお、上記の金額は主に平成 29 年 3 月期期末時点での為替相場の影響によるものであります。

以 上